

令和七年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、八ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章は、福嶋亮大『思考の庭のつくりかた』はじめての人文学ガイド（星海社、二〇二二年）の第2章の一部分である（一部改変）。文章中でいう「本書」とはこの著作を指す。これを読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

(注) *テキスト……文字によって書かれてあるもの。分析や解釈の対象となるような文章。

問一 傍線部A「文学」だけ」を取り扱っている批評家は、実は文芸批評家とは言えない」とあるが、それはなぜか。本文に即して説明しなさい。

問二 傍線部B「文化の真空地帯」とはどのような状態か。本文に即して説明しなさい。

問三 傍線部C「思考も創作も、他者への感染から始まる」とあるが、これはどういうことか。本文に即して説明しなさい。

問四 傍線部D「共鳴現象」とはどのようなものか。これが起こる原因がわかるように本文に即して説明しなさい。

問五 傍線部E「人間はたえず何かを考えているようであり、実際には考えずに済ませている領域が大きい」とあるが、これはどういうことか。本文に即して説明しなさい。

問六 傍線部F「当たり前後の後景を、当たり前前ではない前景へと浮上させる」とあるが、これはどういうことか。本文に即して説明しなさい。

問七 傍線部G「作家はテキストの生産者ですが、テキストの支配者ではありません」とはどういうことか。身近な具体例を挙げながら、二〇〇字以内で説明しなさい。

二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 駅までの ショヨウ 時間を計算する。
- ② 講演を聞いて ケイハツ された。
- ③ シニセ の旅館。
- ④ 機材を ハンニユウ する。
- ⑤ 他者を アザム ぐ。